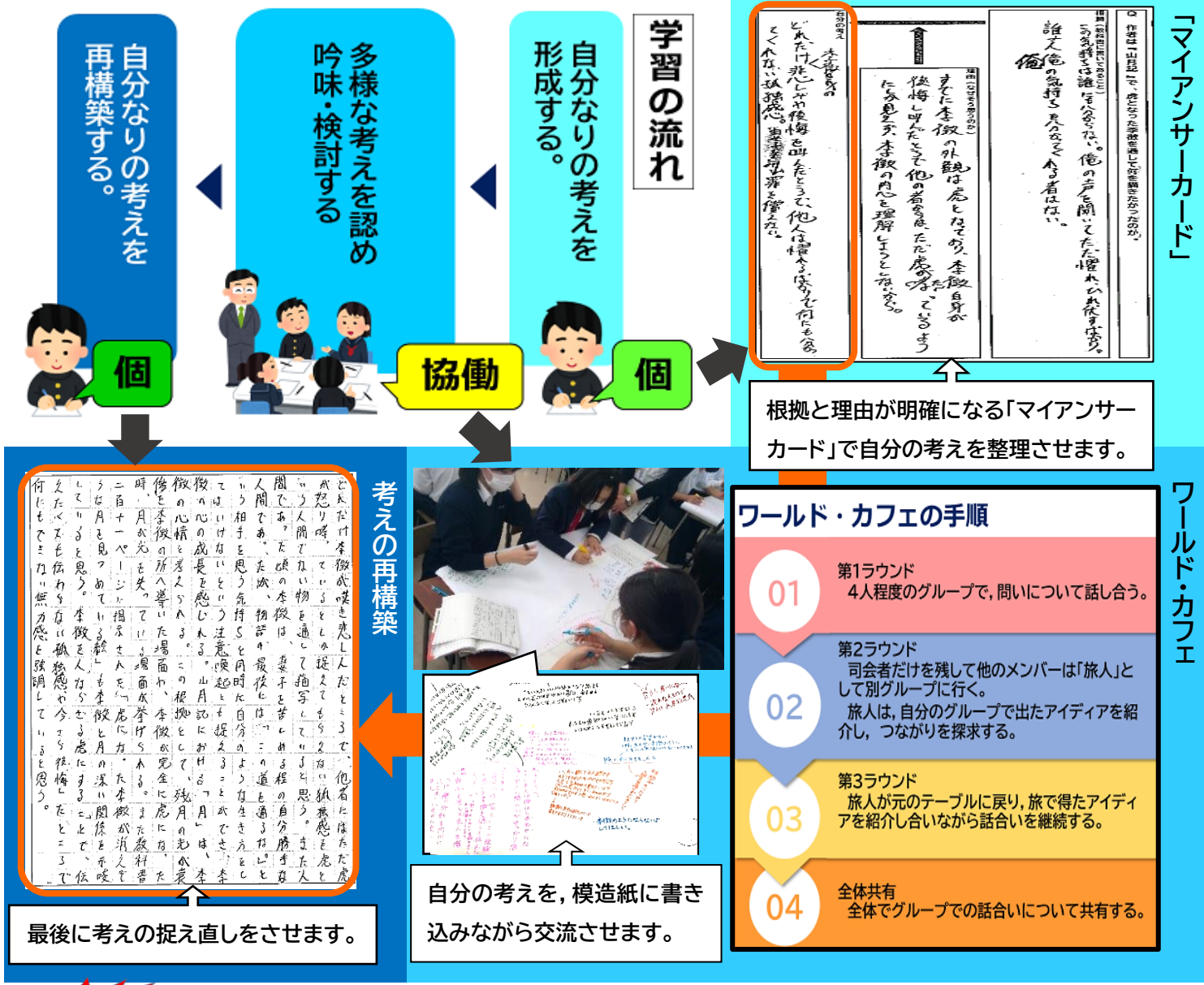


自分の考えを整理・深化させる活動の工夫

自分の考えを、他者の視点を獲得してより確かで説得力のあるものにするための活動
 自身の経験から、高等学校の文学的文章読解の授業においては、講義型一斉授業が行われることが多いと感じます。生徒が多様な解釈を交流するというよりは、生徒は教師から正しい答えを示されるのを待つような状況が見られます。ここでは、問いに対する自分なりの考えを形成し、ワールド・カフェの活動を経てもう一度捉え直し、最終的により確かで説得力のある考えに至る工夫を紹介します。



ワールド・カフェを行うことで、より多様な視点に接し、自分の考えを見つめ直したり、他者の考えとつなげたりすることができます。これによって新たな気づきや考えが生まれます。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善のポイント

ワールド・カフェによる段階的な対話活動を行うことで、他者からの様々な視点を獲得し、自分の考えを吟味・検討できるようになります。さらに、ワールド・カフェの後、自分の考えを捉え直すことによって、自分が納得でき、より確かで説得力のある考えを形成することができます。